

日本及びアジアの工芸

分野	内容		作品、分類番号
陶芸	近代陶芸	河井寛次郎、板谷波山、加藤土師萌、北大路魯山人、富本憲吉らの作品。	河井寛次郎 飛躍成就花等板（HA-90） 板谷波山 氷華磁草花文花瓶（HA-204） 北大路魯山人 織部魚鱗文俎板鉢（HA-206）
	現代陶芸	八木一夫、鈴木治、山田光、熊倉順吉、宮永理吉、ら走泥社のメンバーや加守田章二の作品。	八木一夫 盲亀（HA-194） 熊倉順吉 曲面のレコードラック（HA-217） 加守田章二 曲線彫文扁壺（HA-182）
漆芸	明治期の河之辺一朝、梶山明細、植松抱民、白山松哉から赤塚自得、六角紫水を経て松田権六に至る近代の作品。		植松抱民 桜に燕研出蒔絵硯箱（HD-21） 赤塚自得 金地蝶牡丹唐草蒔絵文庫（HC-23） 松田権六 鶯蒔絵棚（HD-52）
	桃山から江戸初期の輸出漆器。		草花蒔絵螺鈿書見台（HD-41） 鮫皮張草花獸蒔絵螺鈿大筆筒（HD-042）
金工	三原市出身でわが国の伝統的な金工を継承し、片切彫に冴えをみせた清水南山の代表作を含む作品。		清水南山 波に龍文水瓶（HC-7）
染織	現代作家の絣織、友禅染の作品。		渡辺博子 絣織着物「月影」（HB-285） 志村ふくみ 絣織着物「枝垂桃」（HB-8） 森口邦彦 友禅着物「溪流」（HB-12）
染織	中央アジアの染織	木綿地に絹糸で刺繍を施したスザニと呼ばれる染織品、ウズベクの衣服、トルクメンの衣服など、シルクロードの要衝の地で制作された質の高いもの。	中央アジアの刺繍 刺繍布（スザニ）（HB-39） ウズベクのイカット（絣） 女性用長衣（ハラト）（HB-46） トルクメンの刺繍 女性用被衣（チルピ）（HB-67）
	インドの染織	インド更紗を中心に、インドネシアに伝世したり、インドネシアで金箔を押されたりした東南アジアの交易を背景にした歴史	紺地クリシュナ・ゴビ文金更紗（HB-254） 生命の樹文更紗（HB-261）
	インドネシアの染織	バリ島のテンガナン村でグリーンシンと呼ばれている経緯絣。	
金工	ホラーサーンの金工品	現在のイラン東北部一帯の、8世紀から14世紀にかけてのイスラーム美術の特徴を翌伝える作品。	胡銅円筒形灯籠（HC-18） 青銅銀象嵌大水盤（HC-16）
	トルクメンの金工品	18世紀から20世紀にかけて制作されたもので、トルクメン人が財産として常に装着・携行していた作品。トルクメンの代表的な民族工芸の世界有数のコレクションである。	トルクメンの銀製装身具（HC-23~772）